

TokyoTech Be-TEXT 数理計画法 正誤表

(オーム社：2010年11月20日 第1版第1刷発行)

修正箇所	誤	正
P.62, Step 3 の 1	人為変数の導入	人為変数を導入
P.94, 箇条書きの (5)	シンクからソースへ	ソースからシンクへ
P.107, 手順説明の次のパラグラフ冒頭	(Step 3) において	(Step 4) において
P.120, 下から 3 行	もっと大きなネットワークに対して適用する場合は, $T \cup \{e_k\}$ が閉路を含むかどうかを, 9章で紹介したアルゴリズムなどを用いて判定すればよいだろう.	$T \cup \{e_k\}$ が閉路を含むかどうかの判定には, 節点にラベルを付けることで対応できる(詳細は略).
P.124, 最後の行	$\frac{c_1}{a_1}$	$\frac{c_i}{a_i}$
P.126, 下から 5 行目	2,3,4 段目	2~5 段目
P.137, 上から 7 行目	$F_1(z) = \max_{0 \leq x_1 \leq z} f_1(x_1)$	$F_1(z) = f_1(z)$
P.137, 箇条書きの (1)	<p>…を求める. $f_1(x_1)$ は単調増加であるから,</p> $F_1(z) = \max_{0 \leq x_1 \leq z} f_1(x_1) = f_1(z)$ <p>したがって, …</p>	…を求める. $F_1(z) = f_1(z)$ より, …
P.191, 4 行目	… 12 3 2	… 18 3 2
P.191, 最後の行	$\sum_{i=1}^n x_i = Z$	$\sum_{i=1}^n x_i \leq Z$